

宮古病院 1 階夜間救急外来改修工事（建築）

図面リスト

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	建築改修工事特記仕様書（その1）	A-11	平面図（改修後）
A-02	建築改修工事特記仕様書（その2）	A-12	展開図 1
A-03	建築改修工事特記仕様書（その3）	A-13	展開図 2
A-04	建築改修工事特記仕様書（その4）	A-14	天井伏図
A-05	内部仕上表 1	A-15	建具共通事項
A-06	内部仕上表 2	A-16	建具キープラン
A-07	床面積（改修部分）	A-17	建具表
A-08	平面図（改修前）		
A-09	平面図（撤去部分）		
A-10	平面図凡例（改修後）		

令和 7 年度
沖縄県立宮古病院

建築改修工事特記仕様書〔建築工事編〕沖縄県土木建築部					
令和8年1月改定版					
1 工事概要					
(1) 工 事 名 : 宮古病院1階夜間救急外来改修工事					
(2) 工 事 場 所 : 宮古島市平良字下里427-1 (地域地区等)					
(3) 敷 地 面 積 : 23.040 m ²					
(4) 工 事 種 目 : 改修工事					
ア 建築物					
建築物の名称 宮古病院					
主要用途 病院					
構造及び階数 RC造、地上6階・地下1階					
工事種別 改修工事					
建築面積 6,183.72m ²				m ²	m ²
延べ面積 20,591.06m ²				m ²	m ²
延べ面積(改修部分) 162.56m ²					
工作物等の名称					
数量					
2 本工事の設計時期					
本工事の設計書は、令和 7年 7月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。					
3 建築工事仕様					
(1) 標準仕様					
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)〔令和7年版〕(以下「標準仕様書」という。))による。					
(2) 特記仕様					
ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。					
イ 特記事項は、「・」に○印の付いたものを適用する。					
「・」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。					
「・」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。					
ウ 項目及び特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。					
エ 特記事項に記載の(参)は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)〔平成31年版〕巻末の各部配筋参考図の当該項目を示す。					
4 その他					
(1) 公共事業労務費調査に対する協力					
ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。					
イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。					
ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。					
エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。					
(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策					
受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。					
ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。					
イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。					
ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。					
(3) ウィークリースタンスの実施					
工事現場環境に関しては、ウィークリースタンス実施要領の3. 取組内容について、業務着手時の打合せ時に確認、調整し、取組内容を設定すること。なお、取組内容は打合せ記録簿へ記録し、受発注者で共有すること。					
当該要領については、沖縄県技術・建設業課のホームページ(下記アドレス)を参照すること。 https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/gijiken/kankeitosyo.html					
(4) 工事監理業務への協力等					
ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。))は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。					
イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。))の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。					
ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。					
(4) 工事監理業務への協力等					
エ 建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。					
(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて					
本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乘じた額で行う。					
(6) 県産資材の優先使用					
本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。					
(7) 下請業者の県内企業優先活用					
請負業者は、下請契約の相手方を県内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。))から選定するように努めなければならない。					
(8) 不発弾等発見時の処理について					
本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。					
また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。					
なお、これについては、下請業者へも周知すること。					
(9) ダンプトラック等の過積載等の防止について					
ア 工事中用資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。					
イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。					
ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。					
エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることがないようにすること。					
オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。					
カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。					
キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。					
(10) 不正軽油の使用の禁止等について					
ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。))又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。))を使用し、又は使用させてはならない。					
イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の採取調査に協力しなければならない。					
(11) 設計図書における資材等の取扱いについて					
ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。					
イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとりの品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同品以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。					
ウ 「参考図」は建設工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。					
(12) ガイドライン等の遵守について					
設計変更等については、契約書18条から26条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン(営繕工事編)」(沖縄県土木建築部)によるものとする。					
(13) 本工事の予定価格に占める法定福利費概算額について					
ア 受注者は、契約締結後15日以内に、監督員を経由して請負代金内訳書を提出し、請負代金内訳書には、工事現場に従事する現場労働者に係る社会保険料(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険をいう。))の内の事業主が納付義務を負う保険料(以降「法定福利費」という。))を明示すること。					
また、明示する法定福利費の算出に当たっては、各専門工事業体団体が作成した標準見積書に沿って作成された法定福利費を内訳明示した下請企業の見積りの活用等の方法により適正に見積もることが必要であり、「法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順」に準拠する等により適切に算出すること。					
イ 発注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合」は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建設業法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf 【各団体が作成した標準見積書(国土交通省HP)】 ホーム>政策・仕事>土地・建設産業>建設産業・不動産業>各団体が作成した標準見積書 https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000082.html					
(14) 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知					
落札者(随意契約の場合にあっては、契約の相手方)は、建設業法(昭和24年法律第100号)第20条の2第2項の規定に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定(随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定)から請負契約を締結するまでに、発注者に対して、その旨を当該事象の状況の把握のため必要な情報と併せて通知すること。					
通知様式については、沖縄県技術・建設業課のホームページ(下記アドレス)を参照すること。 https://www.pref.okinawa.jp/machizukuri/kenchiku/1023167/1013333/1013334/1013335.html					
章	項 目	特 記 事 項			
一般共通事項	① 適用基準等	● 建築改修工事監理指針(令和7年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		12 施工中の安全確保及び環境保全等(1.3.7)(1.3.11)	
		● 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部			
		● 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部			
		● 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和6年版)(一社)公共建築協会			
		● 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)			
		● 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部			
		● 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に關する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部			
		● 構造計画・施工計画・建築設備計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部			
		登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。		13 交通安全管理(1.3.9)	
		3 工事の一時中止に關する事項(1.1.9)		工事の一時中止に係る計画の作成	
	4 工事の余裕期間		(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に關する計画(以下「基本計画書」という。))を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に關すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に關すること及び工事現場の維持・管理に關する基本的事項を明らかにする。		
	5 遠隔臨場の実施(1.1.14)		(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。		
	6 概成工期(1.2.1)		・ 余裕期間を設定する工事 【 方式】 【以下から選択・発注者指定方式／任意着手方式／フレックス方式】		
	7 品質計画等(1.2.2)		(1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮しない。		
	8 施工図等(1.2.3)		(2) 余裕期間制度のうち、任意着手方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。 このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式－1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。		
	9 工事の記録(1.2.4)		(3) その他事項は、「余裕期間を設定する工事実施要領」による		
	10 電気保安技術者(1.3.3)		・ 本工事は遠隔臨場を適用する。使用する機器及び立合う工程等については監督職員と協議をすることとする。		
	11 施工条件(1.3.5)		図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。		
			建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 (1) 風速:V0＝ m/s (平12建告第1454号第2) (2) 地表面粗度区分: (3.5.4)(3.9.3)(5.13.5)(9.3.4)		
			(1) 施工図等の著作権に關わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。		
			(2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。		
			(3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。		
			沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。		
			電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。		
			施工順序等の制約 ● 無し ・ 有り【・現場説明書による・図示・		
			工事車両の駐車場所:・図示 ● 現場説明書による・		
			資材、機材置場:・図示 ● 現場説明書による・		
			建設発生土の仮置場:・図示・現場説明書による・		
			その他の施工条件:・図示・現場説明書による・		
工事名称		沖縄県立宮古病院1階夜間救急外来改修工事		工事年度	
工事場所		宮古島市平良字下里427-1		図面名称	
発注機関		沖縄県立宮古病院		縮 尺	
摘 要				図面番号	
検 印		管理建築士 設 計 製 図		名 称(有)都一級建築設計事務所	
				資格者氏名垣 花 正 昭	
				登録番号	
				一級建築士 登録 第157466号	
				所 在 地	
				宮古島市平良字下里1379-5	

仕上共通事項（凡例項目の・に○印を付した項目を採用する）			内部仕上リスト（記載事項を採用する）						
床	・仕上げはFLからの仕上げ高さを示す。特記なき限り、±0とする。	その他	・品質グレード欄に記載された建築材料名等については、原則として同等品以上のものを採用する。 ・外部及び水廻りに用いるGBは、耐水仕様とする。 ・障板、額縁は特記なき限りクラフトマー系押出型材とする。（天井伏図による） ・カーテンボックスは特記なき限りクラフトマー系押出型材とする。（天井伏図による） ・屋内基礎の仕上は、床仕上に準ずるものとする。 ・排煙種別は防火区画図による。	床			壁		
	・躯体高はFLからの躯体高さを示す。特記なき限り-10とする。			記号	仕上	品質グレード	記号	仕上	品質グレード
	・PS、EPS、DS内の床仕上は特記なき限り防塵塗装仕上とする。			VT-1	ビニル床タイル-1（コンポジション）		EP-1	EP-1	
				VT-2	ビニル床タイル-2（ホモジニアス）		EP-2	EP-2	
				VT-3	ビニル床タイル-3（リノリウム系）		EP-M	多彩模様塗（マルチ）	
壁	・大面積ボード壁及び異種下地部分については、必ず亀裂誘発目地を配置する。			VT-4	ビニル床タイル-4（置敷、ブレーション）		EP-6	つや有合成樹脂エマルションペイント（グロス）	
	・機械室に隣接して居室が配置される場合、剛性が高い材料を使用し、LGS下地は千鳥、内部GW充填とする。			VT-5	ビニル床タイル-5（置敷、耐薬品、耐動荷重、帯電防止）		VC-1	ビニルクロス-1	
	・男女の便所及びシャワー室が隣接する場合、遮音壁（ボード両面2枚貼、内部GW充填）を採用する。			VS-1	ビニル床シート-1（ブレーション）		VC-2	ビニルクロス-2	
	・外壁に接するグラスウールのアンカーピンは内部結露防止のため、樹脂製のものを使用する。			VS-2	ビニル床シート-2（抗菌）		CLH-1	クロス-1（織物調）	
	・塗装仕上の場合、穴明きコーナービードを使用する。			VS-3	ビニル床シート-3（抗菌、耐動荷重）		CLH-2	クロス-2	
	・電気室出入口及びEPS間仕切下部は止水対策として、躯体立上り（H=100程度）を設ける。			VS-4	ビニル床シート-4（耐摩耗）				
	・LGS壁のボード貼はジョイントレス工法とし、二枚貼りの場合はジョイントは重ならない様に施工する。			VS-5	ビニル床シート-5（耐薬品）				
	・GBは、特記なき限り、不燃仕様とする。			VS-6	ビニル床シート-6（耐薬品、耐動荷重）				
	・乾式遮音間仕切が、他壁及び躯体等と取り合う部分には遮音用シールを施す。			VS-7	ビニル床シート-7（耐薬品、帯電防止）				
				VS-8	ビニル床シート-8（耐薬品、耐動荷重、帯電防止）				
				VS-9	ビニル床シート-9（防滑、耐摩耗、耐動荷重）				
				VS-10	ビニル床シート-10（衝撃吸収）				
				VS-11	ビニル床シート-11（リノリウム系）				
天井	・浴室の天井材はロックウール系の防湿加工した製品は使用しない（湿気を吸って脱落）								
	・ブール、浴室、脱衣室等が多い室は、天井下地を高廣食仕様（SUS+クリヤー）とする。								
	・500㎡を超える大規模空間の天井は、特記仕様14.4.5に規定する耐震天井とする。								

間仕切壁下地仕様						巾木・腰		天井	
記号	仕様	認定番号	記号	仕様（遮音壁・耐火壁・吸音壁等）	遮音・耐火認定番号	記号	仕上	記号	仕上
L-1	GB-R t 12.5+ t 9.5、LGS下地（両面貼）	60分準耐火	LW-1	GB-F t 12.5+GB-R-H t 9.5、LGS下地（両面貼）音響絶縁パッド千鳥配置	TLB-45（FP060NP-0199）	VH	ビニル巾木	DR-1	GB-R t 9.5+RW-B t 9.0
L-2	GB-R t 12.5+ t 9.5、LGS下地（片面貼）	1時間耐火（FP060NP-0174）	LW-2	GB-F t 12.5+GB-R-H t 9.5+GW t 50/24kg、LGS下地（両面貼）スパーサーGB-R t 12.5千鳥配置	TLB-51（FP060NP-0200）	YT	床材立上げ	DR-2	GB-R t 9.5+DR t 9.0
L-3	GB-F t 12.5+ t 15.0、LGS下地（両面貼）	1時間耐火（FP060NP-0199）	LW-3	GB-F t 21+GB-R-H t 9.5+GW t 50/24kg、LGS下地（両面貼）スパーサーGB-R t 12.5千鳥配置	TLB-56（FP060NP-0198）	SH	ステンレス巾木	DR-3	GB-R t 9.5+DR t 9.0（外部用）
L-4	GB-F t 12.5+GB-R-H t 19.5、LGS下地（両面貼）	1時間耐火（FP060NP-9129・9055）	LW-4	GB-F t 21+GB-R-H t 9.5+GW t 50/24kg、LGSスタッドダブル配置	TLB-61（FP060NP-0198）	WH	木製巾木	EP	GB-R t 12.5 t 9.5+EP-Ⅱ
L-5	GB-F t 21.0（3枚貼）	1時間耐火（FP060NP-0007）				WT-1	人工大理石	GB-D1	化粧石膏ボード
L-6	GB-F t 21.0+ t 21.0、LGS下地（片面貼）					VS-1	ビニル床シート-1（ブレーション）	GB-D2	化粧石膏ボード（外部用）
								GB-D3	化粧石膏ボード（杉桎）
								GWG	GW・ガラスクロス包み、インサルピン止め
								CS	化粧ケイカル板 t 6
								VC	ビニルクロス

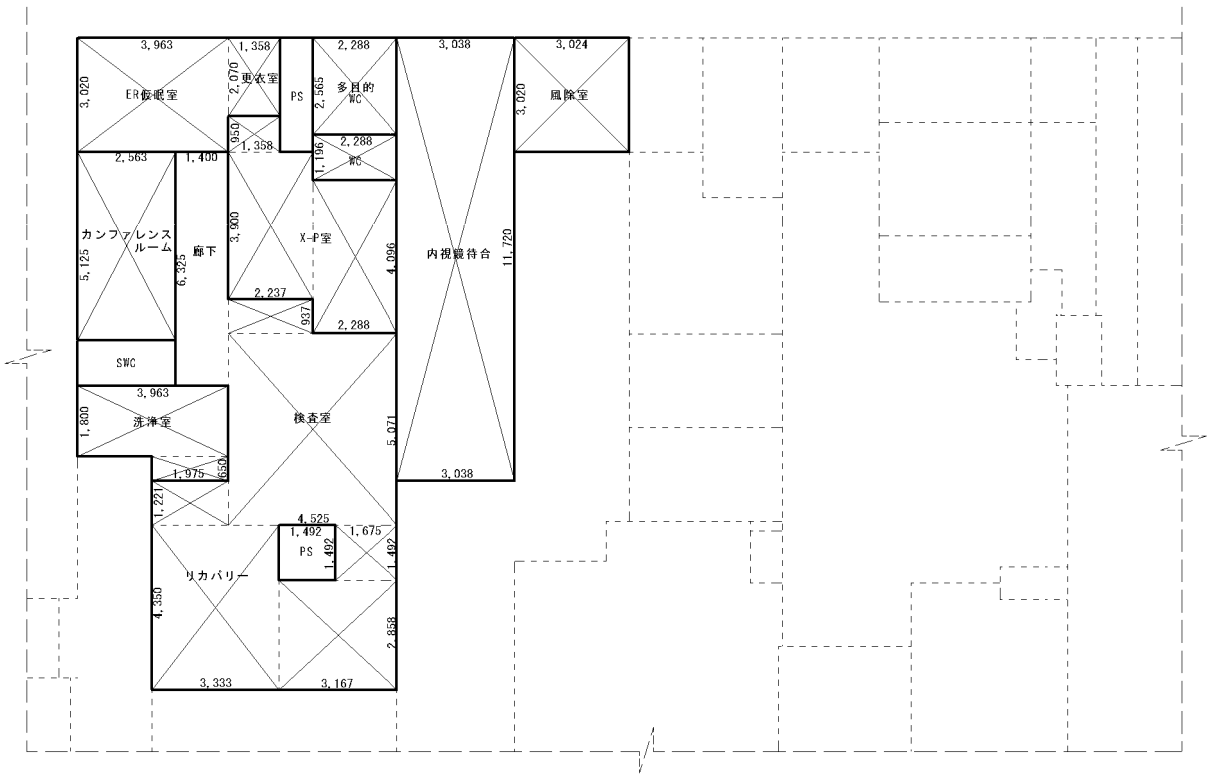
仕上材（塗装）凡例		仕上材（ボード）凡例				認定番号リスト				排煙種別	
SOP	合成樹脂調合ペイント	HW	硬質木毛セメント板	GB-S	シーリング石膏ボード	・石膏ボード t 9.5	GM-9828	・耐火塗料（柱耐火1時間）	FP060BM-0012	自然	自然排煙
ALP	アルミニウムペイント	NW	普通木毛セメント板	GB-F	強化石膏ボード	・石膏ボード t 12.5、 t 15	NM-8619	・耐火塗料（梁耐火1時間）	FP60DM-0047	機械	機械排煙
VE	塩化ビニル樹脂エナメル	HF	硬質木片セメント板	GB-L	石膏ラスボード	・化粧石膏ボード t 9.5	GM-0524			ロ	告示1436号第4号ロ
AE	アクリル樹脂エナメル	NF	普通木片セメント板	GB-D	化粧石膏ボード	・岩綿吸音板	NM-8599			①	告示1436号第4号ロ（一）
EP-1	合成樹脂エマルションペイント（内外部用）	FK	ケイ酸カルシウム板（内装用）	GB-NC	不燃積層石膏ボード	・グラスウールガラスクロス含み	NM-8605			②	告示1436号第4号ロ（二）
EP-2	合成樹脂エマルションペイント（内部用）	FK-2	ケイ酸カルシウム板（内装用）	GB-R-H	普通硬質石膏ボード	・化粧グラスウール板	NM-8610			③	告示1436号第4号ロ（三）
EP-M	多彩模様塗（マルチ）	TK	耐火被覆用ケイ酸カルシウム板（隠蔽部）			・ケイカル板 t 8.0	NM-8578			④	告示1436号第4号ロ（四）
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント（グロス）	TK	耐火被覆用ケイ酸カルシウム板（化粧部）			・塗料EP、SOP、AE、MP、FE	不燃基材NM-8585			二	告示1436号第4号二
GP-T	つや有合成樹脂エマルション模様塗（テクスチャ）	HB	ハードボード			・不燃板	OM-9038				
LE	ラッカーエナメル	MDF	MDF版			・硬質木片セメント板（屋根耐火30分）	FP030RF-9081				
LC	クリアラッカー0.2	IB	インシュレーションボード			・無機質繊維混入石膏ボード t 12、 t 8	NM-9028				
LG	オイルスティン0.5	RW-B	ロックウール吸音ボード			・硬質石膏ボード t 9.5、 t 12.5	NM-9645				
FE	フタル酸樹脂エナメル	DR	ロックウール化粧吸音板			・強化石膏ボード t 12.5、 t 21	NM-8615				
FC	フタル酸樹脂ワニス	GB-P	吸音用穴明き石膏ボード			・塗装下地用ガラスクロス防火1級不燃	壁層材料第0006号				
2-XE2	液形エポキシ樹脂エナメル	GB-R	石膏ボード								
H-XE	厚膜エポキシ樹脂エナメル										
XE-BE	エポキシ樹脂エナメル焼付										
2T-EX2	液形エポキシ樹脂エナメル										
NADE	非水分散形アクリル樹脂エナメル										

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所	工事名称	宮古病院1階夜間救急外来改修工事	R7年7月 日	沖縄県知事事務所登録 147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭	図面番号 A-05
		工事場所	宮古島市平良字下里427-1	図面名： 内部仕上表 1		
				縮尺： S=1/100		

部 門	階	既 設 改 修	室 名	床 仕 上		仕上高 躯体高	巾木・腰 仕 上		壁 仕 上	天井 仕 上		廻縁	天井高	柱型	梁型	ブラインド ボックス	室廻り 仕上	内装制限	排煙種別	備 考
				記号	下 地		記号	高さ		記号	下地									
発熱外来	1 階	既 設	風除室	FT-1	磁器質床タイル50角		SH	ステンレス巾木	75	VG-1	ビニルクロス-1	GB-D2	化粧石膏ボード（外部用）		塩ビ	2700				
		改 修	風除室									GB-D1	化粧石膏ボード（外部用）		塩ビ	2700				
		既 設	夜間診療待合	VS-4	ビニル床シート-4（耐摩耗）		YT	床材立上げ	800	VG-1	ビニルクロス-1	DR-2	GB-R t 9. 5+D R t 9. 0		塩ビ	2700				
		改 修	内視鏡待合																	※既存壁撤去に伴う、床・壁・天井の補修仕上げは既存に合せる
		既 設	夜間診療医事事務室	VS-2	ビニル床シート-2（抗菌）		VH	ビニル巾木	75	EP-2	EP- 2	DR-2	GB-R t 9. 5+D R t 9. 0		塩ビ	2600				
		改 修	X-P室	VS-2	ビニル床シート-2（抗菌）		VH	ビニル巾木	75	EP-2	EP- 2 鉛板t2. 0付GB-Rt12. 5+GB-H t 9. 0	DR-2	鉛板t2. 0付GB-R t 9. 5+D R t 9. 0		塩ビ	2600				※既存壁撤去に伴う、床・壁・天井の補修仕上げは既存に合せる
		既 設	診察・処置	VS-3	ビニル床シート-3（抗菌・耐動荷重）		YT	床材立上げ	75	EP-2	EP- 2	DR-2	GB-R t 9. 5+D R t 9. 0		塩ビ	2600				
		改 修	検査室																	※既存壁撤去に伴う、床・壁・天井の補修仕上げは既存に合せる
		既 設	準備室	VS-2	ビニル床シート-2（抗菌）		YT	床材立上げ	75	EP-2	EP- 2	DR-2	GB-R t 9. 5+D R t 9. 0		塩ビ	2600				
		改 修	洗浄室																	
		既 設	診察・処置	VS-3	ビニル床シート-3（抗菌・耐動荷重）		YT	床材立上げ	75	EP-2	EP- 2	DR-2	GB-R t 9. 5+D R t 9. 0		塩ビ	2600				
		改 修	リカバリー																	※既存壁撤去に伴う、床・壁・天井の補修仕上げは既存に合せる
		既 設	薬剤倉庫	VS-2	ビニル床シート-2（抗菌）		VH	ビニル巾木	75	EP-2	EP- 2	GB-D1	化粧石膏ボード		塩ビ	2600				
		改 修	カンファレンス ルーム																	※既存壁撤去に伴う、床・壁・天井の補修仕上げは既存に合せる
		既 設	多目的WC	VS-2	ビニル床シート-2（抗菌）		VH	床材立上げ	300	EP-2	EP- 2	DR-2	GB-R t 9. 5+D R t 9. 0		塩ビ	2500				
		改 修	多目的WC																	
		既 設	W C	VS-2	ビニル床シート-2（抗菌）		YT	床材立上げ	75	EP-2	EP- 2	DR-2	GB-R t 9. 5+D R t 9. 0		塩ビ	2500				
		改 修	W C																	
		既 設	S W C	VS-1	ビニル床シート-1（ブレーション）		YT	床材立上げ	75	EP-2	EP- 2	DR-2	GB-R t 9. 5+D R t 9. 0		塩ビ	2600				
		改 修	S W C																	
		既 設	休憩室	VS-1	ビニル床シート-1（ブレーション）		VH	ビニル巾木	75	EP-2	EP- 2	GB-D1	化粧石膏ボード		塩ビ	2600				
		改 修	ER仮眠室																	※既存壁撤去に伴う、床・壁・天井の補修仕上げは既存に合せる
		既 設	更衣室	VS-1	ビニル床シート-1（ブレーション）		VH	ビニル巾木	75	EP-2	ビニルクロス-1	GB-D1	化粧石膏ボード		塩ビ	2600				
		改 修	更衣室																	※既存壁撤去に伴う、床・壁・天井の補修仕上げは既存に合せる

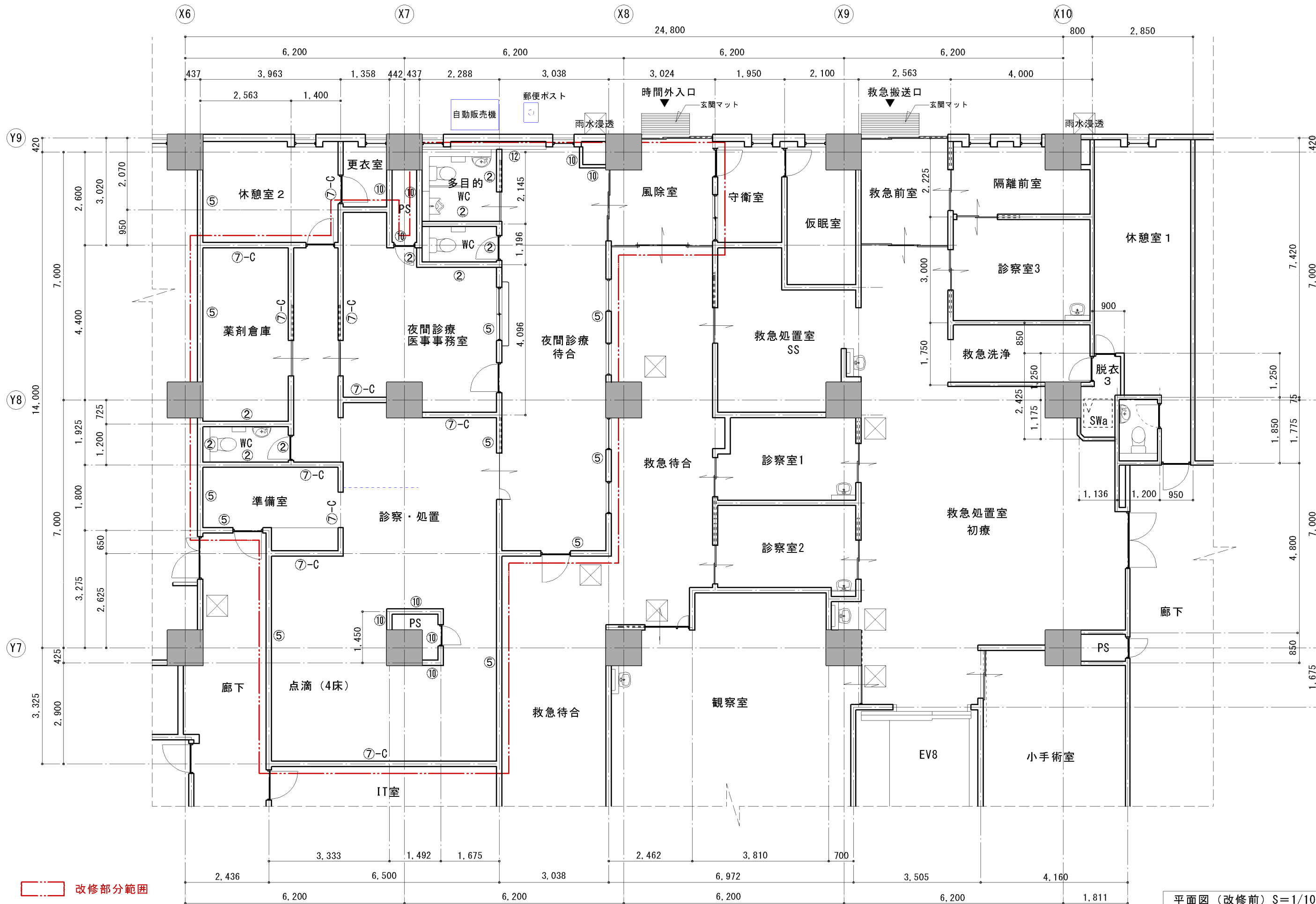
 既設部分

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒 9 0 6 -0013 TEL：(0980) 72-7104 宮古島市平良下里1379-5 FAX：(0980) 73-3813	工事名称	宮古病院1階夜間救急外来改修工事	R7年7月 日	沖縄県知事事務所登録 147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣 花 正 昭	図 面 番 号 A - 0 6
		工事場所	宮古島市平良字下里427-1	図面名： 内部仕上表 2		
				縮 尺： S=1/100		



1 階 居室毎の改修部分床面積

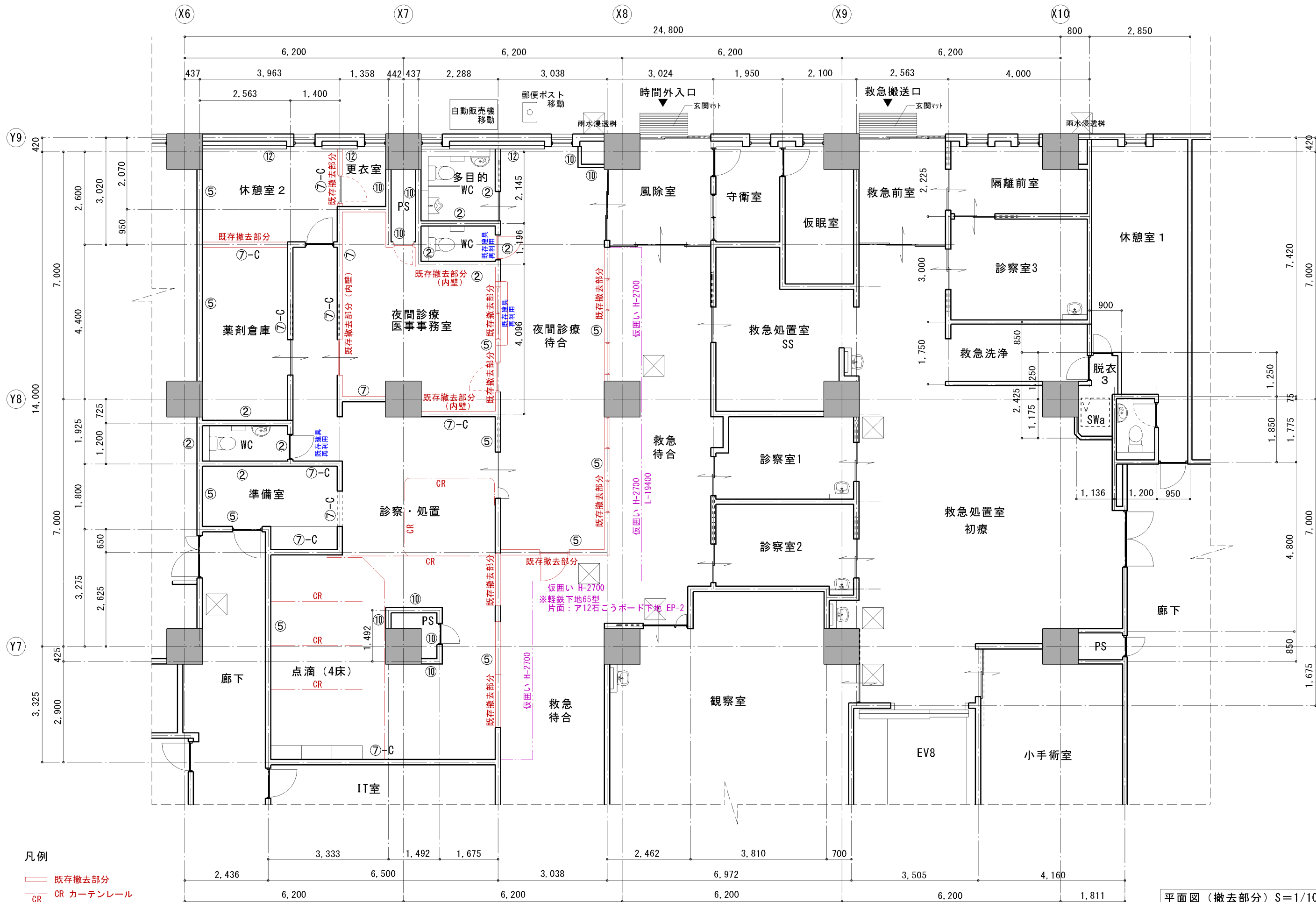
室 名	計 算	合 計
風除室	3.024×3.02	9.1324
内視鏡待合	11.72×3.038	35.6053
X - P 室	$(4.096 \times 2.288) + (3.90 \times 2.237) + (1.358 \times 0.95)$	19.3860
検査室	$(5.071 \times 4.525) + (2.237 \times 0.937)$	25.0422
洗浄室	$(3.963 \times 1.80) + (1.975 \times 0.65)$	8.4171
リカバリー	$(1.975 \times 1.221) + (4.350 \times 3.333) = 16.9099$	28.4602
	$(1.675 \times 1.492) + (3.167 \times 2.858) = 11.5503$	
カンファレンス ルーム	5.125×2.563	13.1353
W C	2.228×1.196	2.7364
多目的W C	2.565×2.288	5.8687
E R仮眠室	3.963×3.020	11.9682
更衣室	2.070×1.358	2.8110
		162.5628
	合 計	162.56m ²



改修部分範囲

平面図（改修前）S=1/100

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒 906-0013 TEL: (0980) 72-7104 宮古島市平良下里1379-5 FAX: (0980) 73-3813	工事名称 宮古病院1階夜間救急外来改修工事 工事場所 宮古島市平良下里427-1	R7年6月 日 図面名: 平面図（改修前） 縮尺: S=1/100	沖縄県知事事務所登録 147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭	図面番号 A-08



平面図（撤去部分）S=1/100

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒 906-0013 TEL: (0980) 72-7104 宮古島市平良下里 1379-5 FAX: (0980) 73-3813	工事名称 宮古病院1階夜間救急外来改修工事	R7年7月 日 図面名: 平面図 (既存壁撤去部分) 縮尺: S=1/100	沖縄県知事事務所登録 147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭	図面番号 A-09

● 壁凡例

- ① G B - F t 2 1 + G B - H t 9 . 5 (両 面) + G W t 5 0 (耐 火 ・ 遮 音 構 造)
耐 火 構 造 認 定 番 号 : F P 0 6 0 N P - 0 1 9 7
遮 音 構 造 認 定 番 号 : S 0 1 - 0 1 1 3
- ② G B - R t 1 2 . 5 + G B - H t 9 . 5 (両 面) + G W t 5 0 (耐 火 ・ 遮 音 構 造)
耐 火 構 造 認 定 番 号 : F P 0 6 0 N P - 0 2 0 0
遮 音 構 造 認 定 番 号 : S 0 1 - 0 1 1 2
- ③ G B - F t 1 5 + G B - F t 1 5 (両 面) . . . (耐 火 構 造)
耐 火 構 造 認 定 番 号 : F P 0 6 0 N P - 0 1 7 4
- ④ G B - F t 1 5 + G B - F t 1 5 (両 面) . . . (耐 火 構 造)
耐 火 構 造 認 定 番 号 : F P 0 6 0 N P - 0 1 7 4
- ⑤ G B - R t 1 2 . 5 + G B - H t 9 . 5 (両 面) . . . (耐 火 構 造)
耐 火 構 造 認 定 番 号 : F P 0 6 0 N P - 0 2 0 0
- ⑥ G B - F t 2 1 + G B - F t 2 1 (片 面) . . . (耐 火 構 造)
耐 火 構 造 認 定 番 号 : F P 0 6 0 N P - 0 0 0 7
- ⑦ G B - R t 1 2 . 5 + G B - H t 9 . 5 (両 面)
- ⑧ G B - R t 1 2 . 5 + G B - R t 9 . 5 (両 面)
- ⑨ G B - R t 1 2 . 5 + G B - H t 9 . 5 + G B - S t 1 2 . 5 (両 面)
- ⑩ G B - R t 1 2 . 5 + G B - H t 9 . 5 (片 面 ・ 天 井)
- ⑪ G B - R t 1 2 . 5 + G B - R t 9 . 5 (片 面 ・ 天 井)
- ⑫ 乾式軽量フカシ壁下地 + G B - R t 1 2 . 5 + G B - H t 9 . 5 (片 面 ・ 天 井)
- ⑬ 乾式軽量フカシ壁下地 + G B - R t 1 2 . 5 (片 面 ・ 天 井)
- ⑭ コンクリート打放し補修 + E P - 2
- ⑮ コンクリート打放し

- ※ 壁符号添字
C : 壁符号を記した部分は、(天井)までとする。
但し下張りの G B - R t 1 2 . 5 は両面とも上部スラブまでとする。
S : 壁符号を記した側の 2 枚張りの間に、遮音シート t 0 . 9 を張り入れる。
N : 壁符号を記した側に、鉛板 t 2 . 0 付 G B - R t 1 2 . 5 を増貼りする。
N 3 : 壁符号を記した側に、鉛板 t 3 . 0 付 G B - R t 1 2 . 5 を増貼りする。
- ※ 特記なき限り 軽量鋼製壁下地 (L G S) は、
高さにより 6 5 型 (~ 4 0 0 0)
9 0 型 (4 0 0 0 ~ 4 5 0 0) ・ 1 0 0 型 (4 5 0 0 ~) を使用する。
(病室の間仕切り壁は 9 0 型を使用する)
- ※ 特記なき限り L G S + G B ボード壁は、上部スラブまでとする。
- ※ 特記なき限り 軽量フカシ壁及び U L 工法壁は、天井 + 1 5 0 までとする。
- ※ 耐火間仕切り壁は、全周囲に耐火目地を設ける。
- ※ 耐火間仕切り壁は、全周囲に耐火目地を設ける。
(認定工法による)
- ※ 遮音間仕切り壁の軽量鋼製壁下地は、千鳥配置とする。
(認定工法による)
- ※ 遮音間仕切り壁及び遮音シートを挟んだ壁下地は、
全周囲に遮音用のシーンを設ける。
- ※ 遮音壁の G W は、2 4 k g / m² 5 0 mm 厚とする。
- ※ 室内仕上げ表の下地に G B - S の表示がある場合は、
記した側の G B - R を G B - S と読み替える。
- ※ 厨房・浴室等の頂上部 L G S 壁は、上記壁下地の上に
珪酸カルシウム板 t 6 を増貼りとする (目地シーン) 。
(壁の仕上暑さは、L G S 壁下地の位置を調整して腰壁の暑さに合わせる)
- ※ 上記の (天井) 部分は、天井 + 1 5 0 までとする。

■ 手摺凡例 (階段部分を除く)

———— A ————— 手摺 (2 段)
———— B ————— 手摺 (1 段)
⊕ C 縦型手摺 (L = 9 0 0)

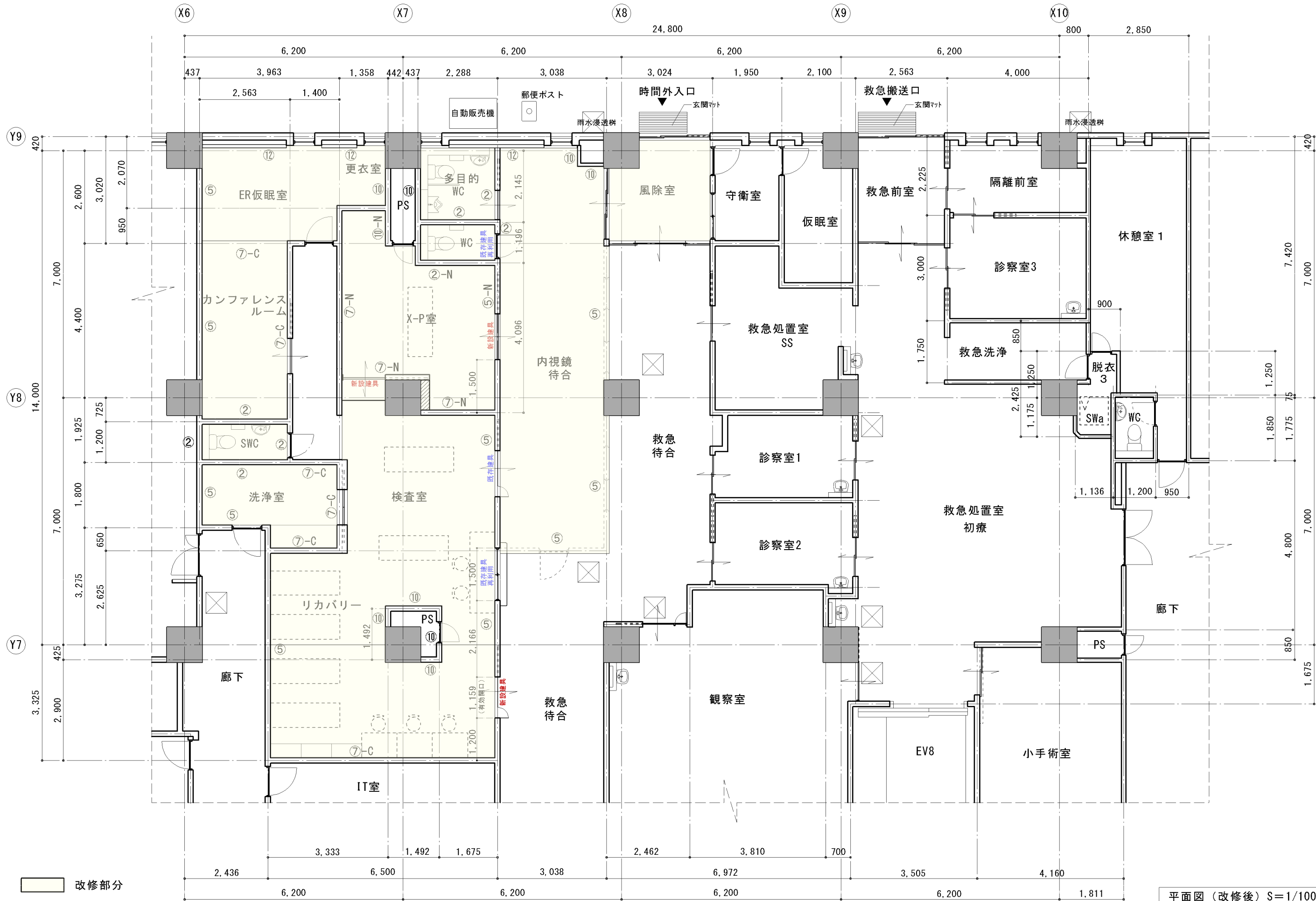
■ コーナーガード凡例 特記なき部分に C G (a) とする。

- ◎ a コーナーガード H 天井まで C - 2 0
◎ b コーナーガード H ≒ 2 0 4 0 C - 2 1
◎ c コーナーガード H ≒ 2 0 0 0 C - 2 2
◎ d コーナーガード H ≒ 2 0 0 0 C - 2 3

■ 枠 凡例 特記なき部分

一方枠 クラフトマー系押出型材 H 天井まで
二方枠 クラフトマー系押出型材 H = 2 1 0 0

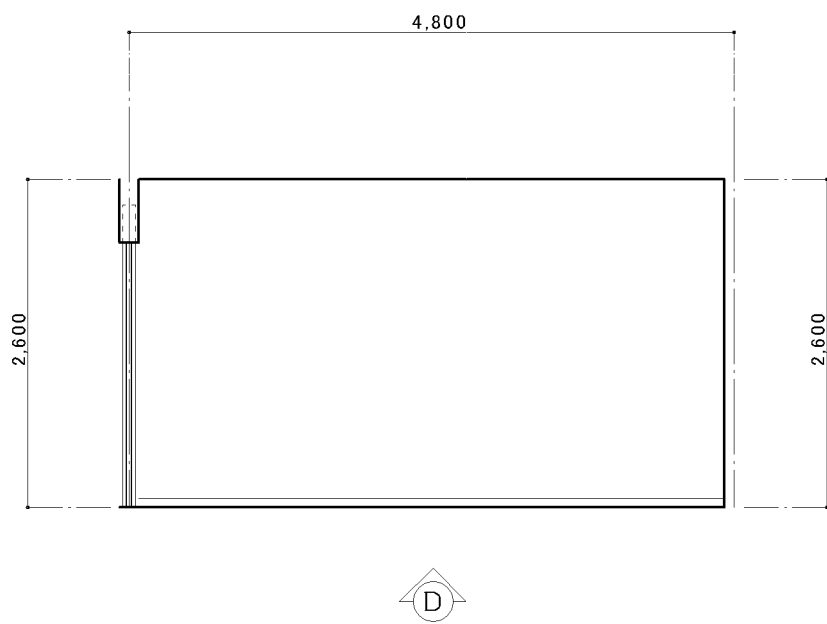
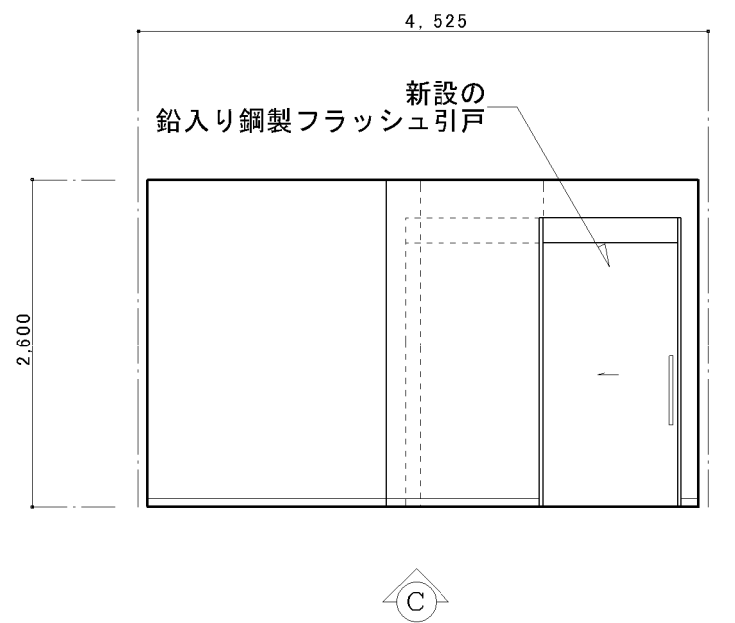
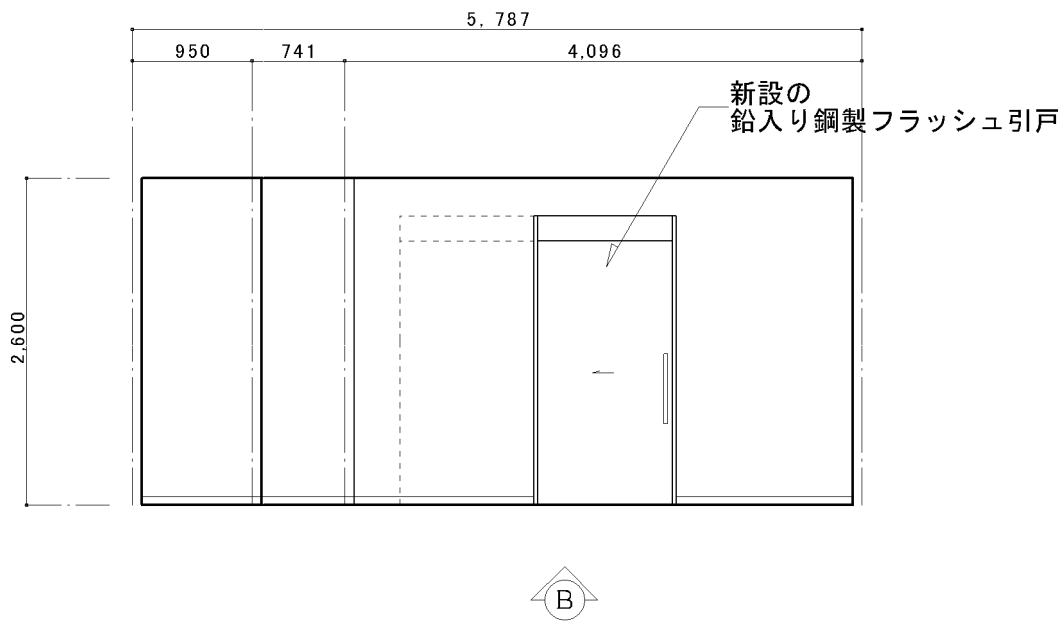
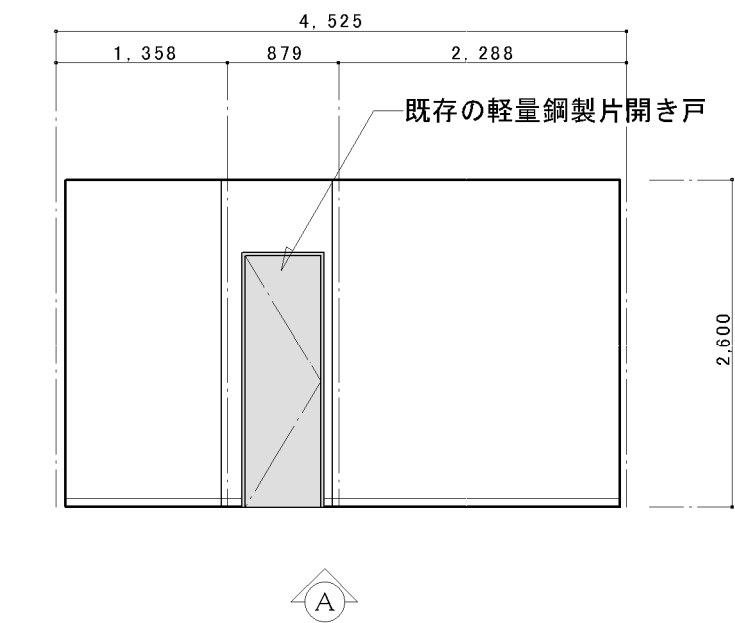
特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒 9 0 6 - 0 0 1 3 TEL : (0 9 8 0) 7 2 - 7 1 0 4 宮古島市平良下里 1 3 7 9 - 5 FAX : (0 9 8 0) 7 3 - 3 8 1 3	工事名称	宮古病院1階夜間救急外来改修工事	R 7 年 7 月 日	沖縄県知事事務所登録 1 4 7 - 4 4 2 一級建築士大臣登録第 1 5 7 4 6 6 号	図 面 番 号
		工事場所	宮古島市平良下里427-1	図面名：平面図凡例 (改修後)	垣 花 正 昭	A - 1 0
				縮 尺：S=1/100		



平面図（改修後）S=1/100

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒 906-0013 TEL: (0980) 72-7104 宮古島市平良下里 1379-5 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	宮古病院1階夜間救急外来改修工事	R7年8月 日	沖縄県知事事務所登録 147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭	図面番号 A - 11
		工事場所	宮古島市平良字下里427-1	図面名: 平面図(改修後)		
				縮尺: S=1/100		

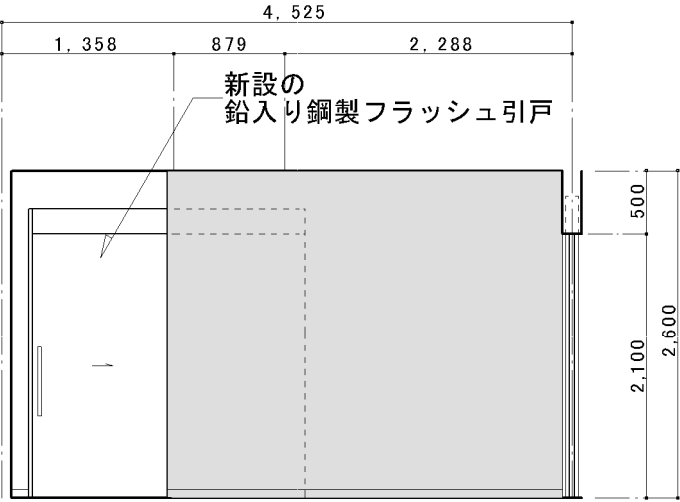
X-P室	床:ビニル床シート-2(抗菌)	巾木:ビニル巾木 75	壁:EP-2 鉛板t2.0付GB-Rt12.5 + GB-Ht9.5	天井:鉛板t2.0付 GB-Rt9.5 + DRt9.0	廻り縁:塩ビ製	改修後
------	-----------------	-------------	---------------------------------------	------------------------------	---------	-----



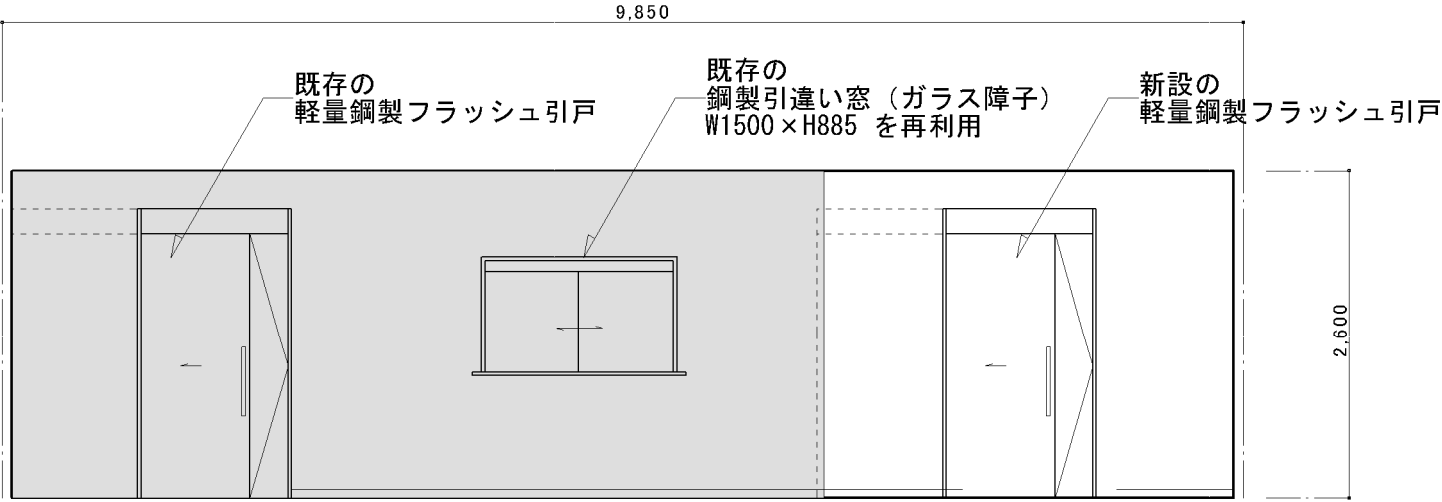
既存部分

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒 906-0013 TEL: (0980) 72-7104 宮古島市平良下里1379-5 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	宮古病院1階夜間救急外来改修工事	R5年 8月 日	沖縄県知事事務所登録 147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭	図面番号 A-12
		工事場所	宮古島市平良字下里427-1	図面名: 展開図(1)		
				縮尺: S=1/60		

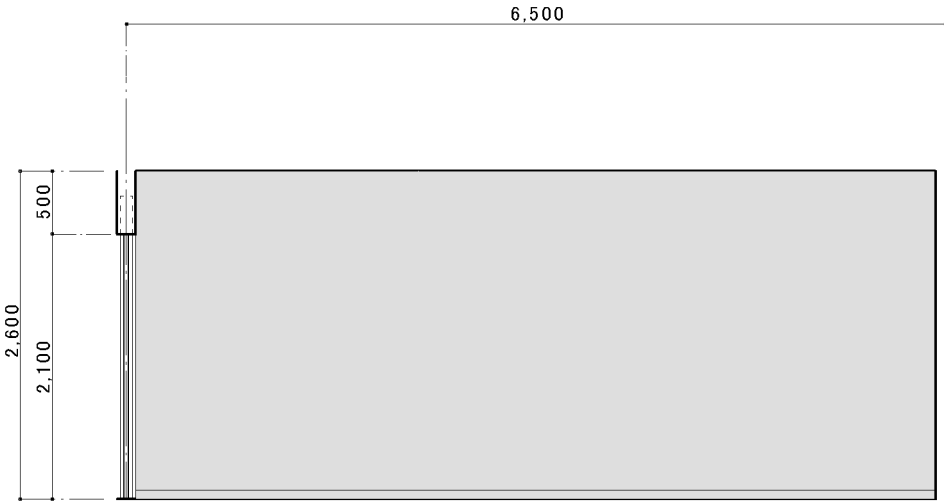
検査室 リカバリー	床:ビニル床シート-3(抗菌・耐動荷重)	巾木:床材立上げ 75	壁:EP-2 GB-Rt12.5 + GB-Ht9.5	天井:GB-Rt9.5 + DRt9.0	廻り縁:塩ビ製	改修後
--------------	----------------------	-------------	--------------------------------	----------------------	---------	-----



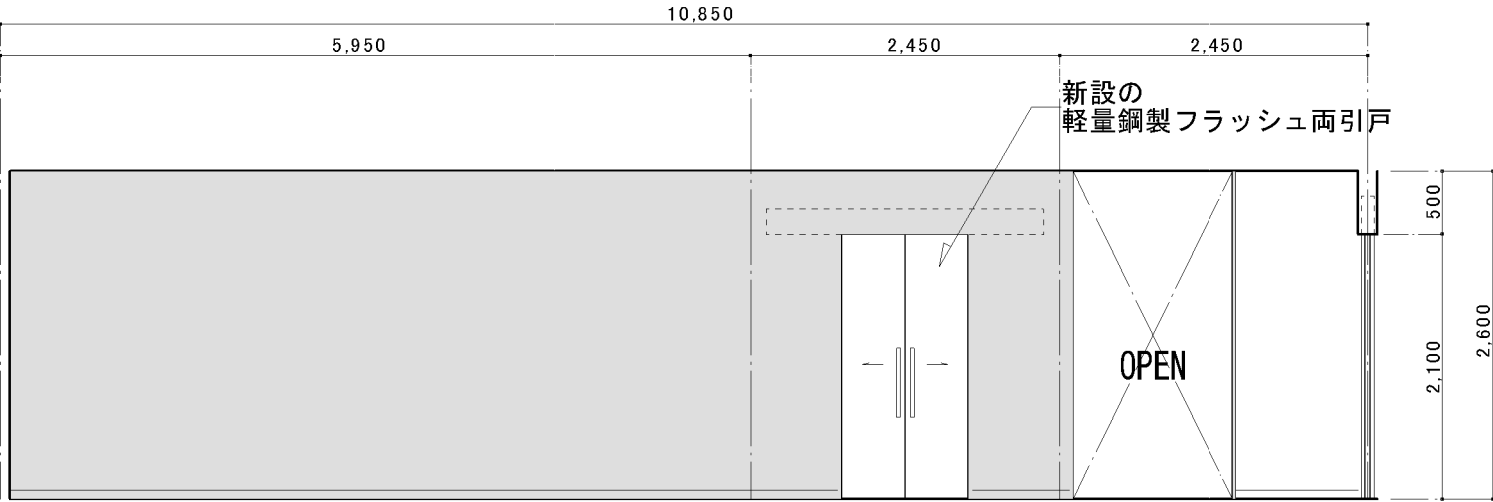
A



B



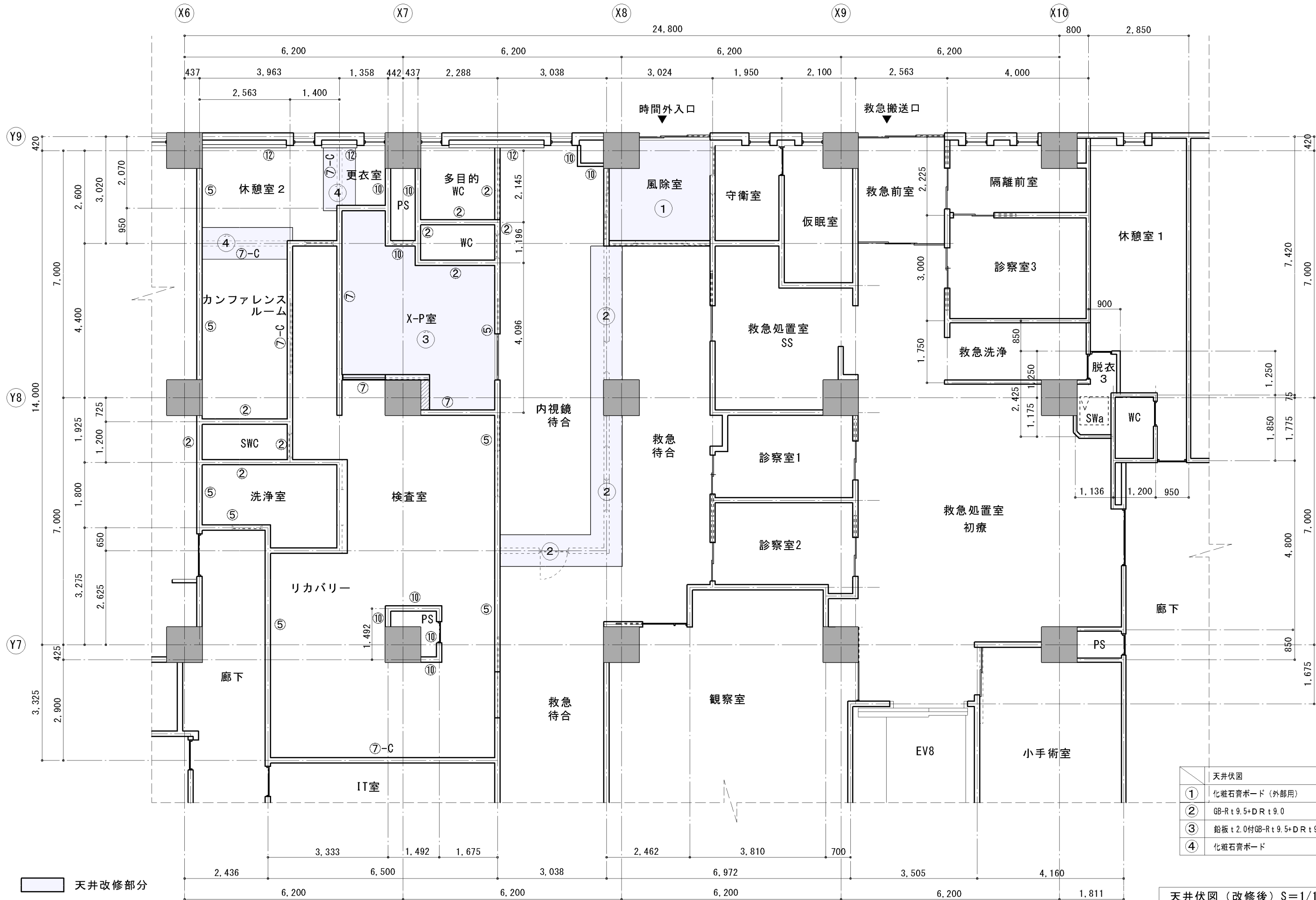
C



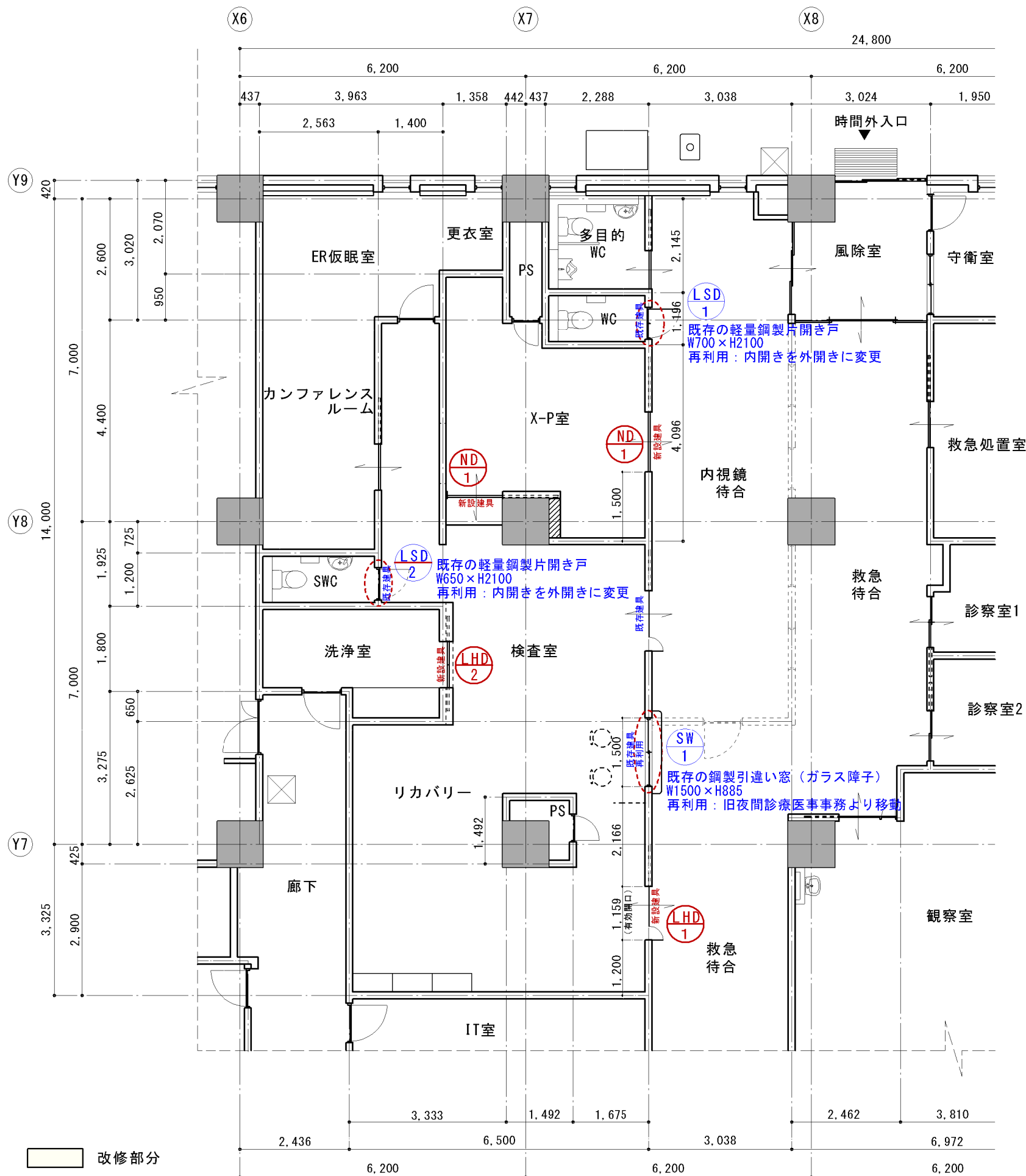
D

既存部分

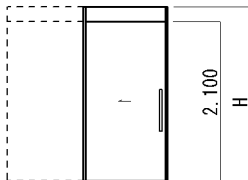
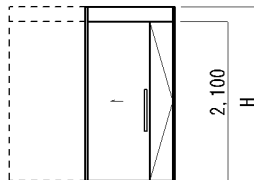
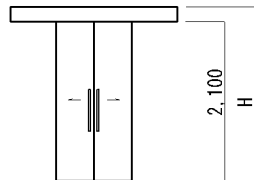
特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒 906-0013 TEL: (0980) 72-7104 宮古島市平良下里1379-5 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	宮古病院1階夜間救急外来改修工事	R5年 8月 日	沖縄県知事事務所登録 147-442 一級建築士大臣登録第157466号	図面番号
		工事場所	宮古島市平良字下里427-1	図面名: 展開図(2)	垣花正昭	A-13
				縮尺: S=1/60		



[illegible]



特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒 9 0 6 -0013 TEL : (0 9 8 0) 7 2 - 7 1 0 4 宮古島市平良下里 1 3 7 9 - 5 FAX : (0 9 8 0) 7 3 - 3 8 1 3	工事名称	宮古病院1階夜間救急外来改修工事	R 7 年 8 月 日	沖縄県知事事務所登録 1 4 7 - 4 4 2 一級建築士大臣登録第 1 5 7 4 6 6 号 垣 花 正 昭	図 面 番 号
		工事場所	宮古島市平良字下里427-1	図面名：建具キープラン（改修後）		A - 1 6
				縮 尺： S=1/100		

名 称	<div>ND1鉛入り鋼製フラッシュ引戸</div>	<div>LHD1軽量鋼製フラッシュ引戸</div>	<div>LHD2軽量鋼製フラッシュ両引戸</div>		改 修 後		
寸 法	W1200×H2100厚 40	W1159×H2100厚 40	W1000×H2100厚 40				
仕 上	A-BE	A-BE	A-BE				
付 属 金 物	シリンダー本締り、把手、上吊自閉金物一式、PD、PB	シリンダー本締り、把手、上吊自閉金物一式、PD、PB	把手、上吊自閉金物一式、PD、PB				
ガラス							
使用場所	X-P室	リカバリー	洗浄室				
数 量	2	1	1				
備 考	形状：S14沓摺：K1	形状：S14沓摺：K1	形状：S14沓摺：K1				
姿 図	<div><div>有効開口 1,200</div></div>	<div><div>有効開口 1,159</div></div>	<div><div>有効開口 1,000</div></div>				
特記事項		<div>(有) 都一級建築設計事務所</div> <div>〒 906-0013 TEL：(0980) 72-7104</div> <div>宮古島市平良下里1379-5 FAX：(0980) 73-3813</div>	工事名称	宮古病院1階夜間救急外来改修工事	R5年 8月 日	沖縄県知事事務所登録 147-442	図 面 番 号
			工事場所	宮古島市平良字下里427-1	図面名： 建具表（改修後）	一級建築士大臣登録第157466号	A - 17
					縮 尺： S=1/100	垣 花 正 昭	